



# 学校だより

さいたま市立大谷場小学校

<http://oyaba-e.saitama-city.ed.jp/>

## 学校教育目標

- ひとみが輝く子 —  
かしこく  
やさしく  
たくましく

今月の生活目標

ことばづかいを正しくしよう

## 「最後まであきらめず 全力でかけ抜ける 大谷場っ子」

校長 三上 良正



(5・6年組体操)

今年の「運動会」は、最上級生の6年生を中心に、真剣な演技、一生懸命の応援、きびきびとした仕事ぶりで、とても素晴らしい行事になりました。まさに、今年の運動会のスローガン「最後まであきらめず 全力で かけ抜ける 大谷場っ子」通りの運動会でした。

特に、印象に残った演技は、1年生から6年生全員が参加した「大玉送り」と「応援合戦」、そして、5・6年生が行った「表現活動(組体操)」です。これらの演技から皆さんの真剣さ・楽しさ・協力・思いやり・厳しさ・挑戦など、生きていく上で、人間としてとても

大切なことを学んでいる姿を目の前で見ることができ、大変感動しました。

しかし、児童の皆さんには、この運動会から知っておいてもらいたい大切なことがあります。それは、この運動会での皆さんの活躍は、多くの方々の温かな支えがあったということです。一生懸命応援してくださった家族の方々、浦和おどりを指導し一緒に踊ってくださった地域の方々、応援席・敬老席・来賓席等から皆さんの頑張りに惜しみない声援と拍手を送ってくださった方々、運動会の運営に協力してくださった保護者・PTAの方々、安全な登校指導をしてくださった防犯ボランティア・地域の方々、みなさんが真剣にかつ安全に演技ができるよう一生懸命、指導や準備をした先生方等、多くの方々の優しさや気遣いによる温かな支えがあったということです。

この9月は、もう一つ心に残ったことがあります、それは、運動会直前の9月25日(月)に、10月8日(日)に駒場競技場で行われる「さいたま市子ども相撲大会(団体戦)」の選手を決める予選会が体育館で行われたことです。本校からは、男女共に1チームずつの出場のため、1・2年生女子は6人、1・2年生男子は4人、3年生男子は5人、5年生男子・6年生女子は2人の立候補者によるリーグ戦が行われました。どの子どもたちも勝つために真剣に戦っていました。中には、負けて悔しさから泣いている人もいました。たとえ、本大会に出場できなくても一生懸命に挑戦した姿勢は大いに評価されるべきものです。たくさんの立候補ありがとうございました。大谷場っ子の積極性を見ることのできた素晴らしい時間でした。

今、校長室には、3か月前に購入した「紫陽花(アジサイ)」と1か月前に購入した「鶏頭(ケイトウ)」の花が美しい緑色と赤色で、毎日、私の目と心を和ませてくれています。水やりを毎日するだけですが、その生命力には驚かされます。大谷場小の子どもたちも勉強、行事、そして、様々な教育活動に、毎日、一生懸命取り組み『生きる力』を育てています。

最後になりましたが、本当に今年の運動会では、多くの保護者・地域の方々、来賓の方々にお世話になりました。今後とも大谷場小学校の子どもたちのために、なにとぞ、お力添えをくださいますようお願い申し上げます。



(鶏頭、紫陽花)